

事務事業名 区画整理地区外工事事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：1614

施策：	28	市街地の形成	財務コード	--
基本事業：	01	市街地の整備	担当部	建設部
基本事業の成果指標	土地区画整理事業等による整備面積（累計） 市街化区域における開発行為等による整備面積（計画期間内累計） 市街化区域における新規住宅着工件数（計画期間内累計）		担当課	区画整理課
			担当係	区画整理担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成23年度 ~ 令和05年度		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫駅西口土地区画整理事業区域周辺			事業区域に隣接する山林の湧水対策工事や切土工事、法面工事を行う。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
筑紫駅西口土地区画整理事業区域内の宅地との高低差の緩和及び日照条件の改善を図る。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
仮換地指定率		%	96.97	100	100				100
5. コスト									
事業費		計	千円	37,845	2,775				
		国	千円	0	0				
		県	千円	0	0				
		地方債	千円	0	0				
		その他	千円	0	0				
一般	千円	37,845	2,775						
正職員人工数		人工	0.5	0.3	0				
正職員人件費		千円	3,961	2,318	0				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	41,806	5,093	0				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		令和4年度をもって、筑紫駅西口土地区画整理事業地内に隣接する土地の法面工事が全て完了したため、事業終了となる。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	大きい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
区画整理事業の区域が既存山林に接していることや区域内に土地が戻ってくる住民からの要望に基づき、区域内の道路勾配や隣接する宅地間同士の高低差の緩和のために山林を切下げる必要が生じた。					備考・特記事項 or 進行管理欄				